

JIS

製品の幾何特性仕様（GPS）－ 寸法測定器－デプスゲージ

JIS B 7518 : 2023

(JMA/JSA)

令和 5 年 2 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	渡 田 滋 彦	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 35.11.1 改正：令和 5.2.20

官 報 掲 載 日：令和 5.2.20

原 案 作 成 者：日本精密測定機器工業会

(〒105-0003 東京都港区西新橋 3-14-2 榎木ビル TEL 03-3434-9557)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 設計特性	3
4.1 一般	3
4.2 主要部の名称	4
4.3 寸法	5
4.4 表示形式	5
4.5 測定面	9
4.6 構造及び機能	9
4.7 硬さ	9
5 計測特性	9
5.1 一般	9
5.2 定格動作条件	9
5.3 基準点	9
5.4 検査・試験方法	10
5.5 部分測定面接触誤差, E (E_{MPE} による制限)	10
5.6 シフト誤差, S (S_{MPE} による制限)	11
5.7 最大許容誤差, MPE	12
5.8 特殊な事例	12
6 仕様への適合の判定	13
6.1 一般	13
6.2 測定の不確かさ	13
6.3 判定基準	13
6.4 標準基準温度	14
7 検査	14
8 表示	14
附属書 A (参考) 計測特性の校正ガイドライン	15
附属書 B (参考) GPS マトリックスモデルとの関係	16
附属書 JA (参考) 使用上の注意	17
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	18
解 説	20

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本精密測定機器工業会（JMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 7518:2018** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

製品の幾何特性仕様（GPS）—寸法測定器— デプスゲージ

Geometrical product specifications (GPS)—Dimensional measuring equipment—Vernier, dial and digital calliper depth gauges

序文

この規格は、2020年に第2版として発行されたISO 13385-2を基とし、製造及び使用の実状に見合う合理性を備えた規格とするため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で、附属書JAは、対応国際規格にはない事項である。また、側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。

この規格は、製品の幾何特性仕様（GPS）の一つで、GPS基本規格に属し（JIS B 0661参照）、サイズ及び距離のチェーンリンク番号F及びチェーンリンク番号Gに関係する。この規格と他のGPS規格との関連についての詳細を、附属書Bに示す。

1 適用範囲

この規格は、バーニヤ目盛又はダイヤル目盛を備えたアナログ表示のデプスゲージ、及びデジタル表示のデプスゲージについて規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 13385-2:2020, Geometrical product specifications (GPS)—Dimensional measuring equipment—Part 2: Design and metrological characteristics of calliper depth gauges (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0641-1 製品の幾何特性仕様（GPS）—製品及び測定装置の測定による検査—第1部：仕様に対する合否判定基準

注記 1 対応国際規格における引用規格：ISO 14253-1, Geometrical product specifications (GPS)—Inspection by measurement of workpieces and measuring equipment—Part 1: Decision rules for verifying conformity or nonconformity with specifications